

千葉県立鶴舞看護専門学校 学校関係者評価実施報告

千葉県立鶴舞看護専門学校では、「令和5年度自己点検・自己評価結果概要」をもとに、学校関係者評価を実施したので、以下のとおり報告します。

1 実施年月日

令和6年7月24日(水) 13時30分～15時00分

2 学校関係者評価会議出席者

近隣教育機関、近隣保健医療施設、実習施設、有識者(非常勤講師)、看護職能団体、卒業生に出席を依頼しました。

3 実施内容

事業概要、自己点検評価の結果説明、今年度の取り組みを報告し、質疑応答や意見交換を行いました。

《今年度の取り組み》

- ① 授業時間の確保、自己研鑽の時間を確保し、ワークライフバランスを考えた働き方のために業務改善を行う。
- ② キャリアラダーを活用し、教員個々のレベルに応じた育成を推進する。
- ③ 教員個々が自己の役割を認識し、より良い教育活動のためにチームの中で力を発揮する体制づくりを推進する。
- ④ 新カリキュラムを予定どおりに実施し評価する。
- ⑤ 臨地実習における学生の安全教育、安全対策を強化する。

4 学校関係者評価・意見

主なご意見は以下のとおりです。(書面審査1名を含む)

大項目	評価		ご意見等
1.教育理念 教育目的 教育目標等	適切	7	○ 育てたい看護師像と身につけさせたい力が明確でわかりやすい
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		
2.教育課程	適切	6	○ 看護実践体験の保障では、実習施設側の問題も大きいと思われる、事前打ち合わせ等を通し情報共有できれば良い。 ○ インシデントを集計し傾向を把握する等、改善や対策のために新たな取り組みも実施しているので、自己評価がもう少し高くても良い。 ○ グループワークや少人数での生徒主体の授業が実施されていることは非常に良い取組だと思う。
	ほぼ適切	1	
	やや不適切		
	不適切		

3.教育活動	適切	6	○ 見るだけの教育ではなく体験から学ぶという教育過程から、当事者が看護師に何を望むのかなど具体的な内容を考えられ看護師へのビジョンを作り上げるために大事な教育活動であると思った。
	ほぼ適切	1	
	やや不適切		
	不適切		
4.経営管理	適切	4	○ 教職員の労務管理について体制の整備に早急に取りかかれると良い ○ 職員の方々の健康度が学生さんに目に見えない形で影響するので、経営管理において工夫できることを考えてほしい。
	ほぼ適切	2	
	やや不適切	1	
	不適切		
5.入学	適切	7	○ 少子化の中で学生の確保も難しいと思われるが学校説明会など広報活動を実施できている。 ○ 社会人経験者に対するアピールももう少しあってもよい。 ○ 大学と比較し、学費が安いことは生徒募集につながるアドバンテージである。
	ほぼ適切		
	やや不適切		
	不適切		
6.卒業・ 就業・進学	適切	6	○ 県内の様々な施設に卒業生を排出しており、素晴らしいと思う。 ○ 県内就業率 100%は、先生方の指導の賜物と思いました。 ○ 国家試験の合格率が高く、県内の医療機関に就職できていることは目標を達成できている。
	ほぼ適切	1	
	やや不適切		
	不適切		
7.地域社会	適切	5	○ 近隣の高校や医療機関、福祉施設からと連携がありニーズに込えている。
	ほぼ適切	2	
	やや不適切		
	不適切		
8.研究	適切	5	○ 教員のキャリアラダーの見直しを実施している。教員に必要な実践や能力を段階的に評価しやすく、教職員の資質向上に繋がることが期待される。 ○ 中項目タイトルの「教職員の資質向上」ということでは、インシデント集計等、研究的な視点での取組が多いと感じた。
	ほぼ適切	2	
	やや不適切		
	不適切		
自由な ご意見	○ 重点目標である「働き方改革」に向けて取り組んでいる様子がわかった。看護師育成という教育機関の役割を果たしながら、職員全体での働き方への意識共有や仕事内容の吟味、仕事量の割り振りなどに取り組み、教員が健康で学生の支援にあたってほしい。		

5 終わりに

今後も、学校関係者評価会議を継続して開催し、学校外部からの評価をいただく機会を設けながら、学校活動全般に関する質の向上を図ってまいります。